

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102542
法人名	社会福祉法人 愛心会
事業所名	グループホーム桜
所在地	鹿児島市下福元町9057 (電話) 099-210-8655
自己評価作成日	平成31年2月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日常では個人のペースに合わせての対応を心がけてます。ときには同敷地内にケアハウスがあり、合同でのイベントを楽しんでいます。また、町内会の夏祭り等にも参加して地域との交流も図っています。急変時対応も日頃から話し合い、訓練も行っており、AEDも設置しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

毎朝、隣接するケアハウスと合同で、法人理念を唱和するほか、グループホームでも、毎月の職員会議でホームの理念を唱和し、意識付けを図っている。ホームの理念である「みんなで ゆっくり 楽しく」を、目に付きやすい玄関や職員トイレに掲示し、一緒に談笑したり、家事や趣味活動に自分のペースでゆっくり取り組めるよう、見守りや声を掛けながら支援につなげている。

自治会に加入し、地域の清掃活動や夏祭り等に参加している。また、昨年、地域活性化のために発足した、町作りコミュニティの福祉部会に所属し、一人暮らしの高齢者や徘徊対策等、地域の高齢者支援に取り組んでいる。教育機関とは、中学生の職場体験の受け入れや看護学生の実習の受け入れ等、積極的に交流している。

調理担当者が、利用者の好き嫌いや食べたいものを尋ねたりしながら1週間分の献立を工夫している。台拭きや配膳下膳、もやしの根切り等、調理の下ごしらえを利用者と職員が一緒に行い、同じメニューの食事を会話を楽しみながら食べている。また、季節に合わせた行事食の提供や、外出に出かけることも多く、利用者の楽しみにつながっている。

年2回、夜間想定を含む災害訓練を、民生委員や隣接するケアハウスの協力をもらい実施している。備蓄は飲料水やレトルト食品等を約3日分備え、備品として職員用にライト付きヘルメット、利用者にも各居室にヘルメットを備えている。また、不審者対策として、「さすまた」も準備している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念が見える所に貼り、常に意識出来て、理念の意識を踏まえたケアの心がけをしている。	理念である「みんなで、ゆっくり、楽しく」を実践できるよう、毎月の職員会議で話し合い確認している。特に利用者のペースで生活できるよう「ゆっくり」を大切に考えており、日々の支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の夏祭りへの参加、清掃活動への参加、運営推進会議や苑の行事案内を行い民生委員さんに参加頂いたり、入居者様にも参加して頂いている。	自治会に加入し、地域の清掃活動や夏祭りに参加するほか、中学生の職場体験や看護学生の実習の受け入れ等、積極的に交流している。また、昨年発足した町作りコミュニティの福祉部に所属し、地域の高齢者支援に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の総会や清掃などに参加し、運営推進会議において苑の取り組みを説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の参加、民生委員さんの参加で会議を開催し、家族の要望を聞き、一つ一つ解決してゆきサービス・支援に努めている。	2ヵ月毎に家族代表や民生委員、地域包括支援センターの職員等が参加し、事業所の活動や利用者状況の報告、高齢者に関する議題について確認している。なるべく多くの参加が得られるよう、外食会や花見等の行事に合わせ実施するなど工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>理念が見える所に貼り、常に意識出来て、理念の意識を踏まえたケアの心がけをしている。</p>	<p>行政職員とは介護認定申請時や運営推進会議で顔を合わせるほか、集団指導や実地指導において意見や助言をもらっている。また、行政主催の研修会に参加したり、介護相談員の受け入れ、福祉事務所との連携等、日頃から協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>地域の夏祭りへの参加、清掃活動への参加、運営推進会議や苑の行事案内を行い民生委員さんに参加頂いたり、入居者様にも参加して頂いている。</p>	<p>身体拘束や虐待に関する勉強会を年3回程度実施し、身体拘束をしないケアについてや言葉遣い等について繰り返し話し合い、対応の仕方を確認している。また、職員の利用者に対する言葉遣いや接遇について家族にアンケートを取るなど、業務改善について意見を求めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>地域の総会や清掃などに参加し、運営推進会議において苑の取り組みを説明している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>家族の参加、民生委員さんの参加で会議を開催し、家族の要望を聞き、一つ一つ解決してゆきサービス・支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者、計画作成担当者がご家族に説明し、理解いただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置、ご家族の面会時等に要望をお聞きして日誌等に記入し、職員が共有、反映できるように取り組んでいる。</p>	<p>利用者からは、日常会話や様子等から思いを把握し、家族からは運営推進会議や家族会等、来所時に意見を聞いている。家族とは日頃から、日常の出来事や変化に気付いた時、受診の結果等近況についてをこまめに報告することで話をする機会をつくり、意見や要望を出してもらっている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンス等でBS法等を使用して意見交換を行い、業務に反映させている。</p>	<p>管理者は職員にいつでも声をかけてほしい旨を伝えており、個別面談等により随時、話を聞くほか、職員会議でも自由に意見を出してもらっている。また、勤務表作成時には休みの希望を尋ね、可能な限り叶えられるよう調整している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者に何でも意見できる環境、職員間のコミュニケーション図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修や勉強会に参加できる環境ではあるが、職員数がもっと増えると、より研修等に参加しやすい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修や勉強会に参加することにより意見交換の場が増え、サービス向上につなげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>傾聴に心がけ、入居者様の思い、要望をくみとり関わる事により、信頼関係を築けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>細目に報告相談し、安心して頂けるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>出来るだけ多くの情報を収集、共有し必要なケアを考えている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に生活しているという想いで思いやり支え合い安心して生活できる環境を作れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時に状況を報告したり、電話や月1回のご家族への手紙を通して、現状報告し、ご家族の協力のもとで安心して生活できるように取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の面会や知人の面会で関係性を保てるようにしている。	これまでの馴染みの関係をアセスメントシートに記録し、電話や手紙の取り次ぎのほか、自宅に帰りたい意向を把握した場合は家族と協力し、自宅に帰る調整をしている。また、隣接するケアハウスで馴染みの利用者と交流する機会も得られている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リハレクや職員が間に入り皆でコミュニケーションが取れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族にいつでも相談して頂けるような関係性、雰囲気を持つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の希望や意向にそえるように支援している。	入居時に本人の思いや意向を把握し、入居後も日々の行動や表情等から汲み取るよう努めている。把握した内容は、連絡ノートに記録すると共に、毎日の申し送り時に伝達することで情報の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様に話を聞いたり、ご家族に聞いたりし、情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	関りをたくさんとり、観察をしっかりとって現状把握し、情報共有をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間の情報の共有、カンファレンスや訪問診療時などに意見を聞き、最善の方法を考慮し、作成されている。	利用者と家族の意向を基に毎月のカンファレンスや定期モニタリングのほか、日々の職員の意見も参考にしながらケアプランを作成している。また、訪問診療等、受診時に医師や看護師からも助言をもらいケアプランに反映させている。意向や状態に変化がみられた場合は、速やかに話し合いを行い、ケアプランを修正し交付している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>看護記録や個人のケース記録を等で情報を共有し、より良いケアの実践を心がけている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ケアプランにそったサービス、支援に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事に参加して頂き、楽しんで頂けるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療、受診を職員とご家族とで連携して行い結果を電話や手紙で報告。小さなことでも相談できる環境を作れるようにしている。</p>	<p>日頃から訪問診療等、定期受診や訪問看護による健康管理が行われており、本人や家族の安心につながっている。また、皮膚科や眼科等の他科受診に関しては家族にお願いしているところだが、難しい場合は職員が受診に同行している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護が週1回あり、毎日のバイタル測定で体調管理を行い、常にその時の状態を報告、相談し、アドバイスや処置をして頂いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>病院関係者との情報交換、相談をしながら看護サマリー等を通して情報を共有している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者様やご家族の思いを聞き、担当医、訪問看護師、職員が一丸となりチームケアができるようにしている。ご家族間で話をして頂き、終末期についての同意書を作成し支援できるようにしている。</p>	<p>入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明し、入居後、状態に変化がみられた場合等に「施設での看取り介護についての同意書」を取り交わしている。昨年、はじめて看取り支援を行ったが、家族や医師、看護師の協力を得ることができ、チームで連携して看取りを支援することができた。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AEDを設置している。また、救急対応の勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルに基づき年2回の訓練を実施している。また、消防署の方や、地域の方にも参加頂き、アドバイスをいただいている。</p>	<p>夜間想定を含む災害訓練を民生委員や隣接するケアハウスの協力をもらい実施している。また、救急救命講習やAEDの使用訓練を行うなど万々に備えている。備蓄は、飲料水やレトルト食品等を約3日分備え、備品として利用者と職員全員分のヘルメットを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドを傷つけないようにその方に合った声掛けを工夫している。	職員会議や普段の会話の中で言葉遣いや接遇に関する話を話し合っており、人前で排泄の有無を尋ねることがどれほど羞恥心に対する配慮に欠けているかを確認している。守秘義務については、来訪者に口頭で説明しており、個人カルテは外部から見えづらい戸棚に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定を重んじ、要望を引き出す事が出来るように声掛けしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の希望通り過ごせるようその人らしさを尊重し、想いに応える事が出来るようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の理解を得て、定期的に訪問カットを行っている。また、髭剃り等の介助を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感のある献立を心がけ、なるべく温かいものを提供している。また外食等も行っている。	調理担当者が利用者に食べたいものを尋ねるなどして1週間分の献立を作っている。台拭きや調理の下ごしらえ等、利用者と職員が一緒に行い、同じメニューの食事を会話をしながら楽しく食べている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様にあわせミキサー食、刻み食での対応を行っている。また1日当たり1200CC摂取を目安に声掛けしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に個人のADLに応じて援助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のリズムを知り、その方にあつた声掛け支援している。車椅子の方もトイレを使用して頂けるように支援している。	トイレに行きたい素振りを見せた時や個々のタイミングを見計らい、自室のトイレに誘導している。おむつを使用していたり、介助を多く必要とする方もトイレに座ってもらうことで、おむつに頼らない排泄ができるようケアプランに組み込み支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で把握している。水分、野菜を多く取って頂ける様に常に声掛けし、体を動かして頂くことへの声掛けも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の希望や体調で入浴して頂き、個々のADLに応じた入浴支援を行っている。	週3回程度、入浴剤を使用するなどして楽しく入浴している。入浴したくないと言われた時は、声かけのタイミングや声のかけ方を工夫することで無理強いすることなく入浴につなげている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活のリズムに合わせて今までの生活習慣に基づき休息頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診ノートや薬情をみて理解、確認をして服薬管理、支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合ったりハレクを行っている。出来ることはお手伝いをお願いしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援は出来るだけ行うように計画している。またご家族にも協力いただいている。	屋内ばかりではストレスにつながるため、花見やソーメン流し、地域の夏祭りに出かけるほか、隣接するケアハウスでの催し物に参加するなど適度な刺激が得られるようにしている。また、外食や外出、外泊等、個別に希望する外出先へは家族の協力ももらいながら調整し支援につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の理解、協力を頂き金銭の保管は施設で行っているが、入居者様の希望があれば使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話で話されたり、要望があれば電話をかける対応を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日掃除を行っている。また季節の応じた飾りつけ等をして、居心地よく過ごせるようにしている。</p>	<p>A棟は鉄筋、B等は木造になっており、共にリビングの天井は高く開放的で、廊下には季節の作品や写真が飾られ、季節行事に楽しく参加している様子が伺える。また、毎日の掃除は次亜塩素酸を使用して消毒したり、こまめな換気や加湿器の使用等、空調に気を配り、居心地よさに配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合う入居者様との会話ができるように席の工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談しながら大切な写真をおいたり、使い慣れたものをおいたりしている。</p>	<p>エアコンやベッド、洗面台が備え付けられるほか、各居室にトイレを完備することで個々のプライバシーに配慮した造りになっている。また、冬場は感染症対策として、加湿や換気にも気を配り対応している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車椅子使用の方で自操出来る方は見守りの中で自操して頂き、安全に動けるように手すりや段差などを配慮している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない